

日経平均 先進国最大の下げ
買収防衛策、平均2割の「反対票」

問われるガバナンス
日本の競争力急落27位
会社論、見直し議論へ

正社員採用「予定なし」47% 10年度
民間調査

公開シンポジウム

コーポレート・ガバナンスと 日本経済

会社議案に厳しい視線

会社は、これからどうしていったらよいのだろうか。

日本企業の国際競争力が懸念されている。株式市場の評価は依然低い。投資家は一貫して日本企業のガバナンスを懸念している。国内で雇用を吸収する力も大きく低下してきた。

会社は、これから一体どうしていったらよいのか。今後の日本経済を考える中で、どういう会社を目指していけばよいのか。「アメリカ型」か、「日本型」か、第3の道か？ 各分野の英知が議論する。

基調講演

岩井克人

国際基督教大学客員教授・東京大学名誉教授

パネルディスカッション

神田秀樹

東京大学法学部政治学研究科教授

柳川範之

東京大学経済学研究科准教授

阿部泰久

日本経団連 経済基盤本部長

大森泰人

金融庁 証券取引等監視委員会事務局次長

岩井克人

(上記)

石田晋也

東京大学公共政策大学院客員教授

※ 登壇者は変更になる場合もあります。

日時 9月28日(火) 15:00～18:00 参加無料

場所 東京大学医学部教育研究棟14階 鉄門記念講堂 主催 東京大学公共政策大学院

プログラムの詳細、お申し込み



<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp>

